

## 第1章 令和3年の主な調査活動の概況

航空機や鉄道、船舶の事故等が発生すると、運輸安全委員会はその事故等を調査する主管事故調査官及び担当事故調査官を指名し、発生原因等について調査を開始します。事故等はいつどこで発生するか分かり得ないことから、事故調査官をはじめとする委員会の職員は、事故等が発生したとき直ちに調査活動ができるよう、日々調査スキルの向上に努めています。

事故調査官は、事故等の調査を行うのみならず、原因関係者から意見を聴取し、また、事故等の防止又は事故が発生した場合における被害の軽減のため講ずべき施策や、勧告案及び意見案を作成するなど、その職務には多角的な知見が求められることから、国内外の研修に積極的に参加し専門的な知識の向上に努めるとともに、国際会議に出席し、事故等に関する情報の共有を諸外国と行っています。

なお、令和3年も令和2年に引き続き、事故調査官は新型コロナウイルス対策を講じて現場調査や原因関係者からの聴き取りなどを実施したほか、事故調査報告書の審議会についてもウェブ形式で開催するなどして、業務への影響を最小限にすることに取り組んだ次第です。

今後も引き続き、発生した航空、鉄道、船舶事故等の徹底した原因究明を行い、極力早期に調査報告書を公表し、調査結果に基づき、必要に応じて関係行政機関や事故等の原因関係者に勧告し、又は意見を述べることにより、事故等の再発防止を求めてまいります。

(「勧告」、「意見」については、「第2章 令和3年に発した勧告・意見等の概要」15ページをご覧ください。)

### 1 令和3年に発生し調査を開始した主な事故等

令和3年も様々な事故等が発生し、以下に掲げた事故等を主とした調査を開始しております。

#### ① 航空関係

- ・個人所属 アエロスパシアル式AS350B型機（回転翼航空機）の長野県小県郡青木村における不時着による機体損傷事故〈3月23日発生〉
- ・川崎重工業(株)所属 P-1型機（大型機）の岐阜飛行場における滑走路を逸脱した重大インシデント〈9月7日発生〉
- ・アカギヘリコプター(株)所属 カマン式K-1200型機（回転翼航空機）の長野県木曾郡大桑村における墜落事故〈9月20日発生〉
- ・個人所属 ロビンソン式R22Beta型機（回転翼航空機）の神奈川県秦野市における墜落事故〈10月7日発生〉
- ・個人所属 シェンプ・ヒルト式アーカスM型機（動力滑空機）の美瑛滑空場付近における墜落事故〈10月12日発生〉

航空事故のうち調査対象となったものは11件で、前年から継続調査となった18件を含む29件について原因究明に向けた調査を行いました。また、航空重大インシデントのうち調査対象となったものは10件で、前年から継続調査となった22件を含む32件について原因究明に向けた調査を行いました。

② 鉄道関係

- ・東日本旅客鉄道(株) 米坂線小国駅～越後金丸駅間（山形県小国町）踏切障害事故〈5月16日発生〉
- ・東日本旅客鉄道(株) 大船渡線真滝駅～陸中門崎駅間（岩手県一関市）列車脱線事故〈7月5日発生〉
- ・日本貨物鉄道(株) 常磐線隅田川駅構内（東京都荒川区）列車脱線事故〈7月24日発生〉
- ・東京都交通局 日暮里・舎人ライナー舎人公園駅構内（東京都足立区）列車脱線事故〈10月7日発生〉
- ・日本貨物鉄道(株) 山陽線瀬野駅～八本松駅間（広島県広島市）列車脱線事故〈12月28日発生〉

鉄道事故のうち調査対象となったものは11件で、前年から継続調査となった14件を含む25件について原因究明に向けた調査を行いました。また、鉄道重大インシデントのうち調査対象となったものは1件で、前年から継続調査となった2件を含む3件について原因究明に向けた調査を行いました。

③ 船舶関係

- ・貨物船OCEAN ARTEMIS潜水艦そうりゅう衝突事故（高知県土佐清水市足摺岬南南東方沖）〈2月8日発生〉
- ・プレジャーボートクマサン007爆発事故（沖縄県国頭郡本部町本部港）〈4月27日発生〉
- ・遊漁船あままさ丸遊漁船はなぶさ丸衝突事故（千葉県いすみ市の東9,200メートル付近海上）〈5月20日発生〉
- ・貨物船白虎ケミカルタンカーULSAN PIONEER衝突事故（来島海峡西口）〈5月27日発生〉
- ・貨物船CRIMSON POLARIS乗揚事故（青森県八戸市八戸港内）〈8月11日発生〉

船舶事故のうち調査対象となったものは736件で、前年から継続調査となった612件を含む1,339件（調査等の結果、事故に該当しない9件を除く。）について原因究明に向けた調査を行いました。また、船舶インシデントのうち調査対象となったものは153件で、前年から継続調査となった134件を含む286件（調査等の結果、インシデントに該当しない1件を除く。）について原因究明に向けた調査を行いました。

2 令和3年に調査報告書を公表した主な事故等

調査が終了した事故等については、委員会（部会）の審議・議決を経た後、調査報告書を国土交通大臣へ提出のうえ、運輸安全委員会ホームページにて公表しております。公表した主な事故等は、以下のとおりです。

① 航空関係

- ・ピーチアビエーション(株)所属 エアバス式A320-214型機（大型機）の福岡空港における前脚の損傷により地上走行が継続できなくなった重大インシデント〈2018年3月24日発生〉

- ・(株)フジドリームエアラインズ所属 エンブラエル式ERJ170-200STD型機（大型機）の山形空港における滑走路を逸脱した重大インシデント〈2019年4月23日発生〉
  - ・全日本空輸(株)所属 ボーイング式787-8型機（大型機）の中国河北省承德市の上空における機体の動揺による人の負傷事故〈2019年8月15日発生〉
  - ・(株)ジェイエア所属 エンブラエル式ERJ170-100STD型機（大型機）が着陸許可を受けて最終進入中の三沢飛行場滑走路に、航空自衛隊所属F-2A型機（大型機）が管制許可を得ないまま進入した重大インシデント〈2019年10月3日発生〉
  - ・個人所属 山陽鉄工式EX-03C PUFFIN-LT447型機（超軽量動力機）の佐賀県杵島郡白石町におけるジャンプ飛行中の墜落事故〈2020年6月9日発生〉
- 調査が終了した12件の航空事故と11件の航空重大インシデントについての調査報告書を公表しています。



ピーチアビエーション機 前脚の損傷

## ② 鉄道関係

- ・(株)横浜シーサイドライン 金沢シーサイドライン新杉田駅構内（神奈川県横浜市）鉄道人身障害事故〈2019年6月1日発生〉
- ・京浜急行電鉄(株) 本線神奈川新町駅構内（神奈川県横浜市）列車脱線事故〈2019年9月5日発生〉
- ・長良川鉄道(株) 越美南線美濃太田駅構内（岐阜県美濃加茂市）列車脱線事故〈2020年3月18日発生〉
- ・富山地方鉄道(株) 本線東新庄駅構内（富山県富山市）列車脱線事故〈2020年7月26日発生〉
- ・WILLER TRAINS(株) 宮津線丹後由良駅～栗田駅間（京都府宮津市）本線逸走重大インシデント〈2020年10月4日発生〉



長良川鉄道 列車脱線事故

調査が終了した12件の鉄道事故と2件の鉄道重大インシデントについての調査報告書を公表しています。

公表した調査報告書のうち「株式会社横浜シーサイドライン 金沢シーサイドライン新杉田駅構内（神奈川県横浜市）鉄道人身障害事故」について、国土交通大臣に対して2月18日に勧告を行うとともに、意見を述べました。

（詳しくは「第2章 令和3年に発した勧告・意見等の概要」16ページ、20ページをご覧ください。）

## ③ 船舶関係

- ・コンテナ船APL GUAMコンテナ船MARCLIFFコンテナ船HANSA STEINBURG衝突事故（京浜港横浜第5区YL4錨地）〈2019年3月21日発生〉
- ・貨物船JIA DE沈没事故（神奈川県川崎市東扇島南東沖）〈2019年10月12日発生〉
- ・貨物船AZUL CHALLENGE乗揚事故（愛媛県今治市中渡島西側の浅所）〈2019年7月22日発生〉

- ・旅客船飛鳥Ⅱ火災事故（京浜港横浜第1区大さん橋ふ頭D号）〈2020年6月16日発生〉
- ・遊覧船グリランド900旅客負傷事故（青森県十和田市御倉半島北方沖）〈2019年9月19日発生〉

調査が終了した673件の船舶事故と156件の船舶インシデントについての調査報告書を公表しています。

公表した調査報告書のうち「遊覧船グリランド900旅客負傷事故」について、人の運送をする不定期航路事業者兼安全統括管理者兼運航管理者に対して8月26日に、「貨物船千勝丸貨物船すみほう丸衝突事故」について、NSユニテッド内航海運株式会社及び音倉内航海運協業組合に対して12月16日に、それぞれ勧告を行いました。

また、「貨物船JIA DE沈没事故」について、パナマ共和国海事局に対して2月18日に、「コンテナ船APL GUAMコンテナ船MARCLIFFコンテナ船HANSA STEINBURG衝突事故」について、APL MARITIME LTD及びMARCONSULT SCHIFFFAHRT GMBHに対して2月18日に、「貨物船FIRST AI乗組員死亡事故」について、JANGHO SHIPPING CO., LTD. に対して6月24日に、それぞれ安全勧告を行いました。

（詳しくは「第2章 令和3年に発した勧告・意見等の概要」17～19ページ、21～23ページをご覧ください。）



貨物船 JIA DE 沈没事故

### 3 令和3年に経過報告を公表した主な事故等

事故等調査において、再発防止を図るために必要があると認めるときには、事故等の経過について、国土交通大臣へ報告のうえ、運輸安全委員会ホームページにて公表しております。経過報告を公表した主な事故等は、以下のとおりです。

- ・船舶事故調査（猪苗代湖被引浮体搭乗待機者死傷）について〈2020年9月6日発生〉

調査中の本件船舶事故について、これまでの調査で得られた情報をもとに、さらに事実の確認や分析を進めるとともに、原因関係者からの意見聴取を行う必要がありました。このため、本件調査については、本事故が発生した日から一年以内に調査を終えることが困難であると見込まれる状況にあることから、国土交通大臣に対して8月26日に経過報告を行ったうえで公表しています。

当該経過報告については、当委員会ホームページをご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2021/keika20210826-0\\_2020tk0008.pdf](https://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2021/keika20210826-0_2020tk0008.pdf)